

一般用電 氣工作物

調査業務実施体制を強化

第19回電気工事業全国大会

これもひとえに、私たち電気工事業界と密接な関係にあります各界各位のご指導と、多くの諸先輩方並びに全国の所属組合員皆様方の強力なご支援、ご協力の賜と深く感謝を申し上げる次第です。

四国での大会は、平成3年、香川県香川町で開催し、以来11年ぶりの開催となります。

この間、日本の社会環境も電気工事業界を取り巻く状況も大きく変わりました。前回の四国大会は、全曰

また、この間、日本経済もバブル経済が崩壊、現在では、深刻な不況下のもとで推移しておりますが、同時に、新しい日本社会の構造改革に向けて規制緩和が一段と拡大促進され、それに伴つて各業界の垣根を越えた競争が進むなど、社会状況は大きく変化しております。厳しい局面にあります。

このような中で、今後の電気工事業界の将来展望するとき、私たち業界の最大の課題は、電気工事業界の構造改革であります。つまり、電気工事業界と

第1回電気工業全国大会の開催にあたり、皆様方にご挨拶を申し上げます。

この全国大会も、今回で19回目を迎えることになりますが、この間、我が電気工業界の進むべき道と、結束を図るたゞひとつの場として、また各開催地における地域社会の皆様方に我が業界の実情を十分にご理解していただく場として、大きな足跡を残してまいりましたことは、誠に大きな意義があつたものと考えて

電工連の顧問として30年にわたりご指導いただき、四国電気工業組合会長でもありました越智伊平先生の陣頭指揮のもとで盛会裡に開催し、大きな成果を残しましたが、その越智伊平先生も黄泉路に旅立たれ、また、昨年1月には、我が業界の中興の祖ともいいうべき強力な指導者、米沢外秋前会長を失うといつ、全日電工連にとつては誠に不幸な出来事が続きました。

需要家の立場 に立った提案型技術 営業の推進に向けて

新しい技術に対応のできる技術者の育成をはじめ、建設業法に基づく施工管理技士の養成拡大、電気工事士法に規定する第一種電気工事士定期講習の法に基づく周知徹底、情報ネットワークの整備拡大、後継者養成、福利厚生事業の中心となる業界年金基金制度の充実など、このほかにも多数の課題を抱えています。

全日本電氣工業會業組合連合會 會長 德住一郎

業界の構造改革が最大の課題

東京都渋谷区渋谷3-32-4
TEL 03-3489-2730
FAX 03-3489-5881
【企画・運営】
東京電視放送
【監修】
日本電気工業事業
【協賛】
東京電視放送
TEL 03-6614-5555
FAX 03-3233-5581
監修会員
03100-0-35809
毎月1回1日
18時10分
月曜日放送
52分900円

広告スペー
ス

全日電工連
全日本電氣工事業
工業組合 連合会

URL
<http://www.znd.or.jp>
E-mail
zennichi@znd.or.jp

全日電工連のホームページがリフレッシュされて、わかりやすく便利になりました。

〒105-0014
東京都港区芝2-9-11
全日電工連会館 1F
TEL 03(5232) 5861
FAX 03(5232) 6855

広告スペース

四国で語ろう "輝く未来"』

11月7日、自然と

歴史の街愛媛県松山市で

愛媛県松山市で開催



松山市のシンボル、松山城と道後温泉

全国から大勢の
組合員が集結



大会の会場となる愛媛県県民文化会館

全日電工連(徳住一郎会長)主催、四国電気工業組合連合会(越智竜一会長)主催により開催される第19回電気工業全国大会が11月7日(木)愛媛県松山市内の愛媛県県民文化会館において幕を開ける。大会テーマは「山・川・海・自然あふれる四国で語ろう併輝く未来」を掲げ、業界の構造改革を訴えていく。全国各地から大勢の参加者を期待している主催の四国電気工業組合連合会は愛媛全国大会を無事成功させるため万全の体制を持って臨んでいる。

1983年に第1回が開催された電気工業全国大会は、全日電工連恒例行事として定着し、今年で第19回を迎える。

同大会は全国所属組合員代表が一堂に会し、組織としての自助努力と結果を図る重要な場として、また電気工業界における秋の大イベントとして業界内外から注目されている。

今回の愛媛大会は平成3年10月に開催された香川大会以来11年振りの四国での開催となるが、この間日本経済はバブル崩壊を契機に

長引く不況に苦しみ、また規制緩和の流れの中で業界が生き残るために、業界の根本的な構造改革が急務である。

今大会では業界の構造改革に向けた基本的な対策として、ここ数年来の重点課題である提案型技術営業の推進をはじめ電気保安に係る調査については、一般用電気工作物の調査業務は、現在全国46都道府県工組が国指定調査機関の指定を受けおり、北海道、東北、中部、関東、近畿、中国、四国、九州の各地方(縦含む)においてすでに同業務を開始しているが、各

都道府県工組で受託シェア格差や新增設・定期調査比率の偏重など的是正を図り、未実施の工組に対しても各電力会社への働きかけいき方針であり、本大会は電気保安の更なる推進・確保の観点からも重要な大会となる。

全国各地から大勢の参加者を期待している主催の四国電気工業組合連合会は万全の体制を持って臨んでいます。

広告スペース

『山・川・海 自然あふれる

対応する総合施設
あらゆる規模と内容に

第 19 回電気工事業全国大会

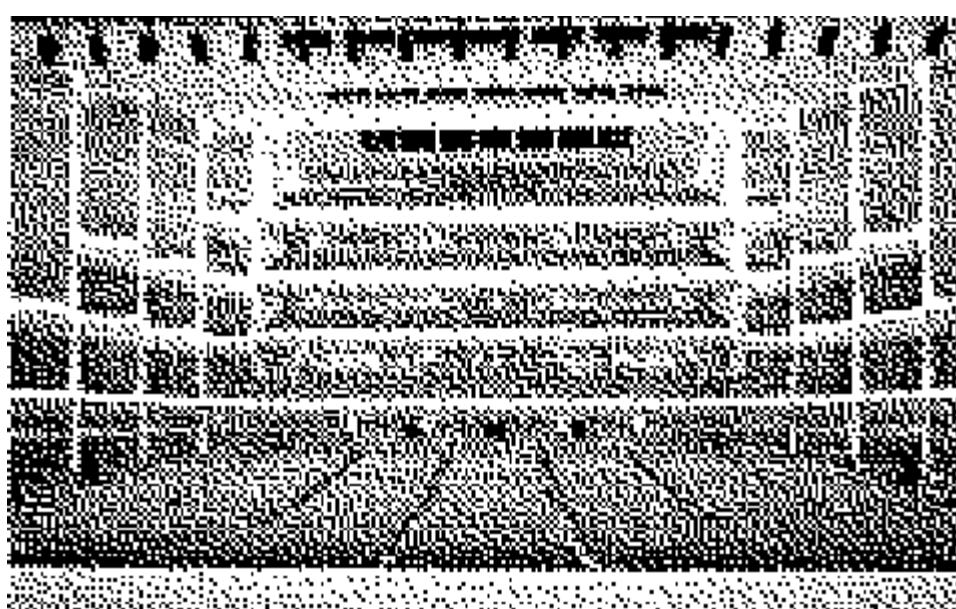
会場となる愛媛県民文化会館は、松山市道後町 2 丁目 5 番 1 号。緯度 0°8'9"(923)5111。主催は全日本電気工事業工業組合連合会。主管は四国電気工事組合連合会。大会テーマは「山・川・海・自然あふれる四国で語ろう供輝く未来」。サブテーマは「信頼関係に基づく需要家の施設概要」。

施設概要

会場となる愛媛県民文化会館は、松山空港から車で約 40 分、JR 松山駅から電車やバスで 20 分足らずの距離にあり、豊かな自然と歴史を持つ松山市の北東、松山城と道後温泉の間に位置する。昭和 61 年に建造された地上 5 階地下 2 階の鉄筋コンクリート造の建物は、メインとサブの大小ホール、多目的スペース、4ヶ国語の同時通訳設備がある特別会議室やテレビ会議室など多数の会議室を備えている。全国大会が開催されるメ

インホールは約 2,250 m² と同施設の中核を成し、客席は 1 階から 5 階まで約 3,000 名の収容人員、身障者席（6 含む）を擁する。ステージは間口 20 m、奥行 24.7 m、高さ 10.5 m のキヤバシティーを誇り、最新の音響・照明設備を完備し、大規模な各種式典や講演会、コンサート、演劇など幅広く利用されている。

「真珠の間」は、各種の集会や式典、パーティ、展示場として利用でき、立食で最大約二千人の催し物が可能となっている。



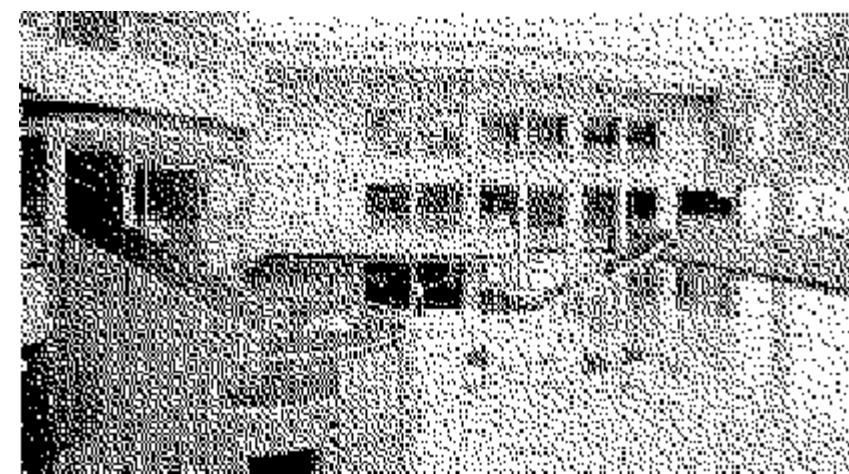
3 千人を収容する大会式典会場のメインホール



青年部意見交換会の会場となるサブホール

第 19 回全国大会開催要領

開催日	平成 14 年 11 月 7 日（木）
開催場所	愛媛県民文化会館＝松山市道後町 2 丁目 5 番 1 号
主催	全日本電気工事業工業組合連合会
主管	四国電気工事組合連合会
大会テーマ	「山・川・海・自然あふれる四国で語ろう供輝く未来」
サブテーマ	「信頼関係に基づく需要家の施設概要」
A 記念講演【13：00～14：30】	テーマ「勝者の思考法」 講演者 二宮清純（スポーツジャーナリスト）
B 大会式典【14：50～16：10】	大会式典 主催者挨拶 来賓紹介 青年部意見発表 大会決議 次回開催地代表者挨拶



正面ロビーは開放感豊かな憩いのスペース

広告スペース

新潟電工組
新潟県電気工業組合
(小林清吉理事長)は 10 月 2 日、我、新潟市上所の新潟
二ツソングラザで、また長岡市立劇場で
それぞれ電気工業安全衛生管理(電気工事作業指揮者)講習会を開催した。
労働安全衛生関係法令においては、電気工事の安全性を確保するため停電作業

長岡会場(上)と新潟会場(下)の模様

同支部ではその活動に室戸市長などから感謝状が授与されている

安衛管理講習会開く

県内 7 会場で開催、計 538 名が受講

北陸電気工事組合連合会(小林稔会長)は 10 月 11 日、富山県富山市の北陸電力研修センターで第 9 回配電工事技能競技会を開催した。同競技会は、配電工事技能教育の一環として毎年開催しており今年で 9 回目。会場には、北陸三県各電力会社の来賓を含め、約 300 名が参加した。

外線事業所と引込線事業所からの見学者、北陸電力などからの来賓を含め、約 300 名が参加した。

競技内容は、外線工事の競技に先立ち、小林稔北

部は、ホットスティックを使用した「間接活線工法に

や活線作業の際に講すべき措置について規定している。

また、現場作業の状況に応じた安全な作業方法が的確に行われるよう、作業指揮者を定めて作業の直接指導等が規定されており、同法規則第 36 条により特別教育

「関係法令」に関しては長岡労働基準監督署第二課長

この電気工事作業指揮者

の講習は、新潟労働局並びに東北電力(株)の協力により 10 月上旬まで県内 7 会場において行われ、新潟会場では 114 名、長岡会場では 66 名が受講。

この日、長岡会場で講師千谷、上越各会場でも開催され、358 名が参加した。

保育園、老人施設や一人暮らしのお寄り宅、知的障

らしさの模様

さの模様

念願の加入者一万名達成！

9
3
6
名
あ
つ
た
が
平
成
13
年
度
末
に
お
け
る
同
基
金
の
加
入
員
数
は
累
計
で
9,
9
3
6
名
と
承
認
さ
れ
た。

続いて榎田幸吉理事（奈良）を議長に選出。平成 13 年度業務報告書及び決算書の承認、平成 14 年度の取組み等全 8 案の議案審議に入り、全議案が原案通り可決承認された。

電気工事業国民年金基金では、平成 3 年 9 月の設立から「加入者一万名」確保を目指し毎年目標数を設定して取り組んできた。電気工事業国民年金基金事務局では、「各都道府県役職員による事業周知の努力が年度ごとの加入促進に繋がっている」と感謝している。

全日本電気工事業国民年金基金の第 23 回理事会及び第 22 回代議員会が 9 月 27 日（金）、東京・港区の全日電工連会館において開催された。

会の冒頭挨拶に立った徳住一郎全日本電気工事業国民年金理事長は、平成 3 年 9 月の発足以来、電気工事業界に携わる者に安心して働ける職場を提供するため、全日本電気工事業国民年金制度は加入者促進に努めてきた。そしてその発足から 11 年目にして遂に悲願であった加入者 1 万名という目標を達成した。

しかし、これにとどまるこなく、安定した事業運営のために新規加入者の勧奨が重要であり、引き続き加入促進に取り組んで頂き、更なる事業の発展を願いたい」と述べた。

引き続き暖かい御支援 お願い致します

順位	都道府県名	認可目標数	平成 13 年度迄の受付数 (A)	平成 14 年度目標数	現在の受付数		平成 14 年度累計	
					4/1 ~ 10/21		平成 14 年 10 月 21 日現在	
					(B)	(A + B)	達成率	
1	石川	105	319	1	4	323	307.62 %	
2	佐賀	89	266	2	2	268	301.12 %	
3	富山	133	331	2	1	332	249.62 %	
4	山口	60	117	2	1	118	196.67 %	
5	島根	24	47	4		47	195.83 %	
6	奈良	89	169	5	2	171	192.13 %	
7	福井	74	141	4		141	190.54 %	
8	新潟	207	334	3	3	337	162.80 %	
9	山形	114	163	3		163	142.98 %	
10	岡山	93	128	5		128	137.63 %	
11	宮崎	137	187	5	1	188	137.23 %	
12	三重	187	246	4	1	247	132.09 %	
13	鳥取	53	70	4		70	132.08 %	
14	広島	128	169	3		169	132.03 %	
15	栃木	196	252	3	1	252	128.57 %	
16	秋田	124	152	2	1	152	122.58 %	
17	岐阜	223	270	4	2	272	121.97 %	
18	滋賀	99	118	3	3	120	121.21 %	
19	長野	120	138	4	3	141	117.50 %	
20	和歌山	149	172	5	3	175	117.45 %	
21	青森	137	155	2	1	156	113.87 %	
22	北海道	406	459	5		459	113.05 %	
23	埼玉	330	363	5	3	366	110.91 %	
24	岩手	93	97	10	1	98	105.38 %	
25	山梨	103	106	4		106	102.91 %	
26	福島	206	210	3		210	101.94 %	
27	鹿児島	202	205	5	3	205	101.49 %	
28	愛媛	206	189	2	5	192	93.20 %	
29	宮城	149	138	10		138	92.62 %	
30	長崎	94	86	8	8	87	92.55 %	
31	高知	125	114	10		114	91.20 %	
32	京都	342	304	5	5	309	90.35 %	
33	神奈川	467	410	3	1	411	88.01 %	
34	兵庫	467	401	5	5	406	86.94 %	
35	愛知	417	351	5	4	355	85.13 %	
36	静岡	332	277	5	2	279	84.04 %	
37	大阪	751	618	15	3	621	82.69 %	
38	徳島	173	141	5		141	81.50 %	
39	熊本	180	142	5	3	145	80.56 %	
40	香川	183	143	2	4	147	80.33 %	
41	茨城	250	192	5	3	195	78.00 %	
42	大分	101	76	15	1	77	76.24 %	
43	群馬	240	150	5	9	155	64.58 %	
44	千葉	361	218	5	5	223	61.77 %	
45	福岡	267	144	10		144	53.93 %	
46	東京	1,004	433	10	2	435	43.33 %	
47	沖縄	111	25	10		25	22.52 %	
	合計	10,101	9,936	242	101	10,037	99.13 %	

全日電工連
国民年金基金

加入促進事業に
ご協力を！

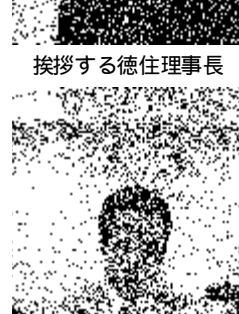
将来の生活
設計お手伝い

全 8 案の議案を審議する理事および代議員

14 年 9 月 24 日現在 10,000 名と設立当初からの目標件数 10,000 名を達成するため全国各都道府県工組役員・職員及び受託金融機関のさらなる協力を呼びかけるとともに、11 月 7 日（木）に愛媛県松山市で開催される第 19 回電気工事業全国大会の会場にポスター掲示や相談コーナーを設けるなど、積極的な加入勧奨を同年基金事業推進委員会を中心に引き続き取り組んでいく。



挨拶する徳住理事長



議長を務めた榎田理事



広告スペース

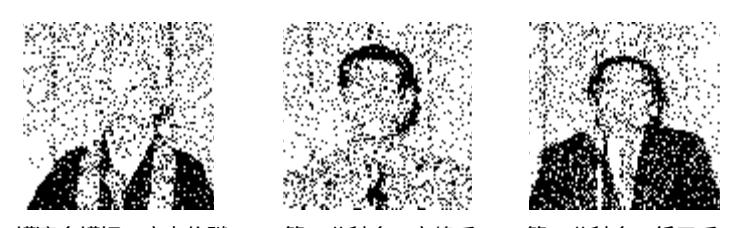
広告スペース

中部電気工業事業組合連合会青年部

三重県津市で開催 中部連合会の経営セミナーに参加



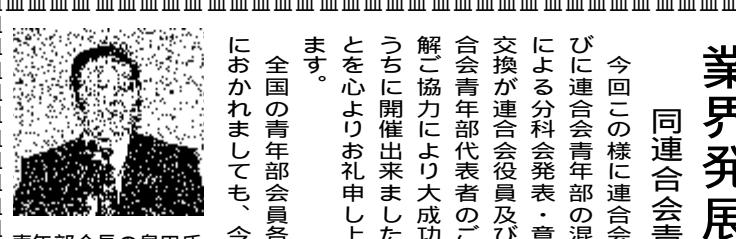
中部5県から役員及び
青年部代表120余名が出席



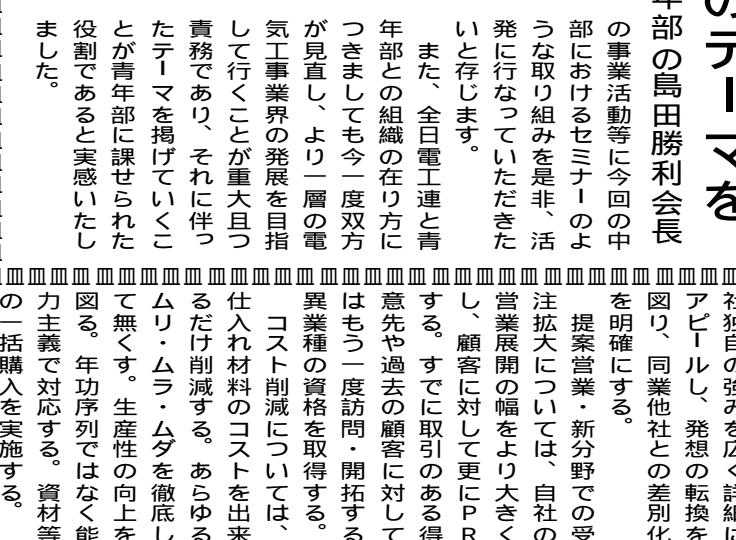
講演会講師の宮本住職 第二分科会の宮崎氏 第一分科会の飯田氏



第一分科会((上)と
(下)の意見発表者)



青年部会長の島田氏



全国の青年部会員各位

次代を担う わがらが青年部

シリーズ

中部電気工業事業組合連合会青年部(島田勝利会長)は、10月1・2日の二日間、三重県津市のホテルグリーンパーク津において開催された。同セミナーは、同連合会の毎年の恒例行事で既に26回の実績を重ねており、例年分科会を設け、中部5県役員・青年部代表から活発な意見報告とその集約を通じて電気工業界の現状把握と将来展望に役立っている。特に連合会青年部に委ねられる分科会では、より活発で白熱した意見発表が毎年なされている。

今年で27回目の開催に当たる同セミナーは、三重県電気工業事業組合による会場設営の下、愛知・岐阜・三重・長野・静岡の中5県役員及び青年部代表120余名が出席し、盛大に開催された。

今回の同セミナーでは、現在の不況下における電気工業界のあらゆる問題に対応し解決すべく、連合会及び連合会青年部による混成の開催にいたった。

今年で27回目の開催に当たる同セミナーは、三重県電気工業事業組合による会場設営の下、愛知・岐阜・三重・長野・静岡の中5県役員及び青年部代表120余名が出席し、盛大に開催された。

第一日目は、北村昭五同連合会副会長(長野県工組理事長)による開会のことばに続き、加藤金太郎同連合会会長が「この経営セミナーでは、いつもその時々に発生した問題や課題について討論し、不況克服のための何らかのきっかけをつかむために開催している」と同セミナー開催の意義を説明したあと、「全日電工連

で率先して進めている提案

技術営業の推進、電気事業法改正に伴う定期調査業務への参入を現在二つの柱として組合業務を推進しているが、そろそろ具体的に

説明したあと、「全日電工連

で率先して進めている提案

技術営業の推進、電気事業法改正に伴う定期調査業務への参入を現在二つの柱として組合業務を推進してい

る」と同セミナー開催の意義を

説明したあと、「全日電工連

で率先して進めている提案

技術営業の推進、電気事業

法改正に伴う定期調査

業務への参入を現在二つ

の柱として組合業務を推進してい

る」と同セミナー開催の意義を

<p